

新たな「総合計画」策定等に関する県民参加意見の概要

新たな「総合計画」素案について、県民等に対して、県民参加用冊子の配布をはじめとした情報提供を積極的に行うとともに、様々な方法で意見、提案をいただいた。

1 県民参加

(1) パブリックコメント

- 募集期間 平成23年12月16日（金）～平成24年1月16日（月）
- 意見の提出方法 郵送、メール、ファックス等
- 意見の件数 817件（個人422件、団体395件）

このほか、市町村等189件 合計1,006件

【参考：政策分野別内訳】（骨子からの累計）

| | | | | | | | |
|----------|------|-------|------|----------|------|-------|------|
| エネルギー・環境 | 209件 | 安全・安心 | 292件 | 産業・労働 | 188件 | 健康・福祉 | 174件 |
| 教育・子育て | 137件 | 県民生活 | 77件 | 県土・まちづくり | 190件 | その他 | 244件 |

参考 平成23年10月14日～11月15日の間実施した骨子に対する意見の状況

意見の件数 255件（個人168件、団体87件）

このほか、市町村等250件 合計505件

骨子、素案の合計 1,511件

*集計結果は速報値であり今後修正されることがあります。

(2) 団体意見聴取

- 関係団体（38団体）に出向いて意見交換を実施

2 市町村参加

(1) 個別訪問による意見聴取

12月16日（金）から27日（火）の間に、県内全33市町村を訪問

(2) 市長会・町村長会等における意見交換

12月17日臨時市長会、12月26日臨時村長会などで説明

3 職員参加

イントラネットや庁内会議等を通じて、職員に参加を周知

4 主な意見（裏面のとおり）

| 意見要旨 | 対応・反映状況 |
|---|--|
| <p>柱I「神奈川からのエネルギー政策の転換」について、原子力エネルギーにかわる再生利用可能エネルギーの活用促進に向けた対策の充実強化を図る。必要な費用負担は、国・東京電力、大口電力消費企業に求める。 (エネルギー・環境)</p> | <p>太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーの導入推進については、「実施計画」のPJ1「『<u>かながわスマートエネルギー構想</u>』の推進」に位置づけた「<u>太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進</u>」の中で取り組んでいきます。なお、住宅用太陽光発電設備をリーズナブルな価格で安心して設置していただく「<u>かながわソーラーバンクシステム</u>」では、再生可能エネルギーの固定価格買取制度などを活用し、県民の負担感をできるかぎり軽減する仕組みを検討しています。</p> |
| <p>生物多様性保全の視点での緑・自然の保全再生、里山保全、公園、緑地・緑道など計画的な都市の緑化をすすめる。 (エネルギー・環境)</p> | <p>生物多様性保全の視点を踏まえた、みどりの保全、再生、活用については、「実施計画」のPJ21「<u>神奈川の自然環境の保全と活用</u>」に位置づけ取り組んでいきます。</p> |
| <p>柱II「災害に強く安全で安心してらせるまちづくり」について、大震災・大津波から県民の命と暮らしを守るため、防災計画を見直し、市町村と共同して防災体制・災害救助体制・救急体制の強化を図る。市町村間の地域連携体制の構築・充実にあたって県の役割を発揮する。 (安全・安心)</p> | <p>市町村と連携した防災体制の強化については、「実施計画」のPJ3「<u>津波被害を軽減する対策の強化</u>」及びPJ4「<u>大規模地震などに備える災害対応力の強化</u>」に市町村の津波等避難対策への支援や消防防災力の強化などに向けた支援を位置づけて取り組んでいきます。なお、東日本大震災を踏まえ、現在、「<u>神奈川県地域防災計画(地震災害対策計画)</u>」の修正を進めています。</p> |
| <p>犯罪被害者支援にあたっては、支援人材の育成が重要である。(安全・安心)</p> | <p>犯罪被害者支援人材の育成については、「実施計画」のPJ5「<u>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり</u>」に「<u>犯罪被害者などへの支援</u>」を位置づけて取り組んでいきます。</p> |
| <p>農商工連携や6次産業化など、産業界における連携を進めていくことについて、実施計画にしっかりと位置づけていく必要があるのではないか。(産業・労働)</p> | <p>農商工連携や6次産業化については、「実施計画」のPJ26「<u>神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開</u>」に「<u>県民の求める『食』の提供の推進</u>」を位置づけて、消費者や加工・小売・飲食業者のニーズに応じた新たな地産地消のしくみづくりに取り組んでいきます。</p> |
| <p>PJ6の目標は、高齢者が地域で安心して暮らせるというプロジェクトの施策方向と合わない。施設介護でなく、在宅介護関係の目標の方がふさわしい。(健康・福祉)</p> | <p>PJ6の目標については、「特別養護老人ホームの整備床数」のほか、在宅介護関係の「<u>訪問介護サービスの利用回数</u>」なども位置づけ、プロジェクトの達成状況を様々な角度から検証することとしています。</p> |
| <p>子育てにおいて、産む場所がないと社会から出産を喜ばれていないように感じるため、産む場所の確保が重要。(教育・子育て)</p> | <p>子どもを安心して妊娠し、出産に臨むことができるよう、実施計画のPJ13「<u>子ども・子育て応援社会の推進</u>」に「<u>安心して生み、育てるための医療体制の充実</u>」を位置づけ取り組んでいきます。また、子育てに不安を抱える親への支援については、同PJの「<u>出産・育児を応援する環境づくり</u>」に位置づけ取り組んでいきます。</p> |
| <p>PJ10について、地域における男女共同参画の推進を図るために、経済活動を行っている団体(企業、経済団体、労働組合、協同組合等)、その他の団体における女性の参画状況を把握し、女性の参画を進める取り組みを働きかけること。(県民生活)</p> | <p>企業に対して女性の参画を進める取り組みについては、「実施計画」のPJ10「<u>男女がお互いを尊敬しともに活躍できる社会づくり</u>」に「<u>男女がともに働きやすい環境づくり</u>」を位置づけ、企業訪問などを通じ、女性の能力発揮に向けた企業自らの積極的な取り組みの促進に取り組んでいきます。</p> |
| <p>実施計画編のプロジェクト25「<u>神奈川を世界にアピールする国際戦略</u>」では、県内大学等への留学生を増加させるとともに、留学生が充実した生活を送れるよう、留学生支援に力を入れて取り組んでいただきたい。(県民生活)</p> | <p>留学生の支援については、「実施計画」のPJ11「<u>多文化共生の地域社会づくり</u>」に「<u>神奈川でくらし学ぶ留学生への支援</u>」を位置づけて取り組むとともに、PJ25「<u>神奈川を世界にアピールする国際戦略</u>」に「<u>神奈川の特徴を活かした国際交流の推進</u>」を位置づけ、元留学生や神奈川ゆかりの外国人をネットワークする「<u>かながわ国際ファンクラブ</u>」の結成などに取り組みます。</p> |
| <p>にぎわい拠点づくりなど、観光に力を入れていくとのことだが、関連してその周辺部の基盤整備もしっかりと進めてほしい。 (県土・まちづくり)</p> | <p>にぎわい拠点づくりについては、「実施計画」のPJ16「<u>地域資源を活用したにぎわい拠点づくり</u>」に、<u>拠点周辺の道路整備など、交通アクセス改善などを位置づけて、周辺の基盤整備も併せて取り組んでいきます。</u></p> |